

広島県の農林水産業の概要

特徴・取組

広島県は、北部は中国山地の南側に位置し、瀬戸内海に面する南部は小規模の平地が広がるほか、数多くの島々を擁し、県内のほとんどが中山間地域となっている。また、南部は広島市、福山市を中心に大消費地を形成している。

北部は積雪寒冷地域であるが、南部は温暖で年間を通じて晴天が多く、降水量は年間1,500mm以下と少なく、平均気温は16℃前後である。

広島県の産業構造をみると、「ものづくり」を軸として、造船・鉄鋼・自動車などの重工業から電気機械・電子部品などの先端産業まで、バランスのとれた層の厚い産業群を形成している。

また、2つの世界文化遺産（原爆ドーム、厳島神社）等の豊富な観光資源により国内外から多くの観光客が訪れ、観光が成長を支える産業の一つとなっている。

広島県では、北部高冷地から沿岸島しょ部地域に至る多様な自然状況を生かして、米、野菜、果樹、畜産を基幹とした多様な農業を展開している。

水産業は、漁業産出額の約7割をかき（養殖）が占めている。また、小型漁船による釣り、刺し網、底引き網、船びき網漁業が主に行われている。

『生産性の高い持続可能な農林水産業の確立』を基本理念とする2025広島県農林水産業アクションプログラムを策定。

今後、広島県では人口減少や少子・高齢化が進むことが予測され、特に中山間地域においては、より厳しい環境変化が見込まれることから、中山間地域の基幹産業である農林水産業においては、経営力の高い経営体を中心となって、持続可能な生産構造を構築していくことが重要であり、あわせて集落や里山里海などを含めた環境が維持されていくことを想定している。

主な農林水産物

レモン

島しょ部を中心に栽培され、全国の収穫量の過半数を占める。

（収穫量全国1位）



かき類（養殖）

かきの養殖に最適な環境に恵まれ、全国の収穫量の過半数を占める。

（収穫量全国1位）



わけぎ

備後（びんご）南地域で古くから栽培されており、全国の収穫量の過半数を占める。

（収穫量全国1位）



イチジク

主に備後南地域で栽培され、数少ない日本いちじく（蓬莱柿：ほうらいし）の産地を形成。

（収穫量全国8位）



水稻

多くの品種が栽培され8～10月まで刈取りが続く。ほとんどが県内で消費される。

（収穫量全国25位）



かんきつ類 （レモン以外）

島しょ部を中心に傾斜地を利用して、温州みかん、ハッサク、シラヌヒ、ネーブルオレンジ等が生産されている。

（収穫量全国順位）

ネーブルオレンジ：1位
ハッサク：2位
シラヌヒ：5位
ナツミカン：8位
イヨカン：8位
みかん：10位



くわい

福山市で栽培され、全国の収穫量の過半数を占める。

（収穫量全国1位）



鶏卵

飼料を工夫した卵や生産履歴が追跡できる卵などが、主に備後北地域で生産されている。

（生産量全国4位）



ばれいしょ

安芸、備後南地域の沿岸部の赤土地帯で栽培され、「まる赤ばれいしょ」として知られている。

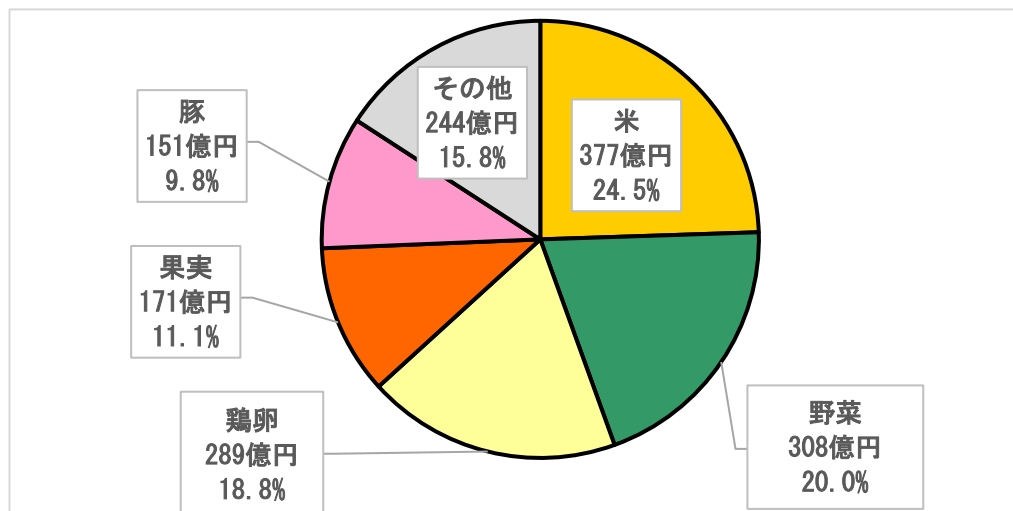
（収穫量全国12位）



広島県の農業（1）

- ・ 農業産出額は1,540億円で全国24位。うち米が377億円（24.5%）、野菜が308億円（20.0%）、畜産が633億円（41.1%）。
- ・ 農畜産物の生産状況は、ネーブルオレンジ、レモン、くわい、わけぎが全国1位、ハッサク（八朔）が2位、鶏卵が4位、シラヌヒが5位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	広島県	全国	全国順位
ばれいしょ	収穫量	R6 6,760 t	2,295,000 t	12
みかん	収穫量	R6 11,100 t	559,600 t	10
鶏卵	生産量	R7 132,521 t	2,453,409 t	4
シラヌヒ	収穫量	R5 2,052 t	35,388 t	5
ネーブルオレンジ	収穫量	R5 1,206 t	2,738 t	1
ハッサク（八朔）	収穫量	R5 3,859 t	23,439 t	2
レモン	収穫量	R5 4,659 t	9,668 t	1
いちじく	収穫量	R5 367 t	9,260 t	8
くわい	収穫量	R4 118 t	195 t	1
わけぎ	収穫量	R4 303 t	582 t	1

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産物流通統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区分	広島県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	1,540 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	24
米	377 億円 (24.5)	25,524 億円 (23.7)	24
麦類	0 億円	582 億円	23 *
雑穀	0 億円	87 億円	21
豆類	1 億円	621 億円	35
いも類	20 億円	2,565 億円	16
野菜	308 億円 (20.0)	25,510 億円 (23.7)	28
果実	171 億円 (11.1)	10,112 億円 (9.4)	14
花き	24 億円	3,423 億円	39
工芸農作物	0 億円	1,577 億円	42
その他作物	5 億円	583 億円	28 *
畜産	633 億円 (41.1)	36,654 億円 (34.0)	15
肉用牛	82 億円	7,861 億円	25
乳用牛	72 億円	10,035 億円	24
生乳	69 億円	8,937 億円	24
豚	151 億円	7,567 億円	15
鶏	326 億円	10,170 億円	12
鶏卵	289 億円	5,764 億円	6
ブロイラー	24 億円	4,259 億円	25 *
その他畜産物	3 億円	1,021 億円	17
加工農産物	0 億円	565 億円	35

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方
 ・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
 ・表中に使用した記号は次のとおり
 「0」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)
 「-」：事実のないもの
 「…」：調査を欠くもの
 「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。
 「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

広島県の農業（2）

- ・耕地面積は5万500haで全国27位。うち田が3万8,200ha、畑が1万2,200ha。
- ・農業経営体数は1万7,076経営体で全国22位。うち法人経営体数が703経営体で22位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は1,322経営体で全国41位。うち法人数が496法人で27位。
- ・農業生産関連事業は、観光農園の年間販売（売上）金額が11億円で全国14位、農業経営体数は70経営体で19位。

耕地面積

区分	広島県	全国	全国順位
耕地面積	50,500 ha	4,272,000 ha	27
田	38,200 ha	2,319,000 ha	24
畑	12,200 ha	1,952,000 ha	31
普通畑	6,770 ha	1,118,000 ha	29
樹園地	4,830 ha	248,600 ha	14
牧草地	622 ha	585,900 ha	21
参考) 総土地面積	8,468.16 km ²	377,979.74 km ²	11

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	広島県	全国	全国順位
荒廃農地面積	7,047 ha	256,667 ha	16

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	広島県	全国	全国順位
農業経営体数	17,076 経営体	836,054 経営体	22
法人経営体数	703 経営体	33,819 経営体	22
総農家数	35,443 戸	1,394,135 戸	16
販売農家数	15,984 戸	792,808 戸	23
参考) 世帯総数	1,243,527 世帯	55,830,154 世帯	11
集落営農数	590 集落営農	13,952 集落営農	7

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	広島県	全国	全国順位
担い手への集積面積	14,129 ha	2,627,068 ha	34
集積率	28.0 %	61.5 %	42

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	広島県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	15,878 人	1,036,228 人	27
男	10,316 人	659,332 人	27
女	5,562 人	376,896 人	30
65歳以上	13,103 人	721,311 人	25
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	82.5 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	1,322 経営体	212,136 経営体	41
法人数	496 法人	29,684 法人	27
参考) 人口総数	2,799,702 人	126,146,099 人	12

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	広島県	全国	全国順位	
農産加工	総額	13,890 百万円	1,006,107 百万円	22
	事業体数	590 事業体	26,910 事業体	20
農産物直売所	総額	16,451 百万円	1,134,381 百万円	35
	事業体数	410 事業体	20,960 事業体	22
観光農園	総額	1,088 百万円	39,113 百万円	14 *
	農業経営体数	70 経営体	4,350 経営体	19
農家民宿	総額	45 百万円	4,933 百万円	23 *
	農業経営体数	10 経営体	770 経営体	20
農家レストラン	総額	439 百万円	39,900 百万円	30 *
	事業体数	20 事業体	1,390 事業体	23

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

広 島 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は92.3億円で全国18位。うち木材生産が43.9億円、栽培きのご類生産が47.6億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国19位、広葉樹が全国3位、あかまつ・くろまつが9位、木酢液等が11位。

林業産出額

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
林業産出額	92.3 億円	4,769.8 億円	18
木材生産	43.9 億円	2,369.4 億円	18
栽培きのご類生産	47.6 億円	2,322.7 億円	11

出典：「令和6年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
素材生産量	329 千m ³	19,763 千m ³	19
針葉樹	247 千m ³	18,398 千m ³	24
あかまつ・くろまつ	14 千m ³	459 千m ³	9
ひのき	102 千m ³	3,019 千m ³	12
広葉樹	82 千m ³	1,365 千m ³	3
生しいたけ	生産量 717 t	61,959 t	25
木質粒状燃料	生産量 108 t	151,868 t	23 *
薪	生産量 613 層積m ³	99,161 層積m ³	28
木酢液等	生産量 2,060 l	1,535,689 l	11 *

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
林野面積	622,962 ha	24,744,214 ha	10
国有林	47,272 ha	7,117,059 ha	20
民有林	575,690 ha	17,627,155 ha	6
人工林面積	205,205 ha	10,059,386 ha	19

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
製材工場数	55 工場	3,547 工場	33
製材用素材の入荷があった工場数	55 工場	3,492 工場	33
国産材のみ	37 工場	3,013 工場	36
国産材と輸入材	15 工場	386 工場	8

出典：「令和6年木材統計」

林業経営体数

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
林業経営体数	741 経営体	23,300 経営体	10
法人経営体数	114 経営体	3,813 経営体	8

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

広島県の水産業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は272億円で全国17位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のかたくちいわしが全国2位、くろだいが6位、海面養殖業のかき類が1位、内水面漁業のあゆが15位。
- ・漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売（売上）金額が23億円で全国3位、事業体数は80事業体で1位。

漁業産出額

区分	広島県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	272 億円	14,785 億円	17
海面漁業	58 億円	8,894 億円	29 *
海面養殖業	214 億円	5,891 億円	13 *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	広島県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	1,945 経営体	65,662 経営体	14
内水面漁業経営体数	48 経営体	4,076 経営体	23

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	広島県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	2,672 人	121,389 人	17
男	2,410 人	109,757 人	19
女	262 人	11,632 人	14

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	広島県	全国	全国順位
漁船隻数	2,905 隻	109,284 隻	14
動力漁船	1,982 隻	58,907 隻	11

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	広島県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	113,701 t	3,589,121 t	6 *
海面漁業漁獲量	17,675 t	2,786,195 t	26
かたくちいわし	14,056 t	102,699 t	2
くろだい	104 t	2,201 t	6
海面養殖業収穫量	96,026 t	802,927 t	2 *
かき類	94,290 t	148,149 t	1 *
くろのり	1,497 t	186,896 t	11
内水面漁業・養殖業生産量	59 t	47,046 t	36
内水面漁業漁獲量	15 t	17,915 t	29
あゆ	13 t	1,414 t	15
内水面養殖業収穫量	44 t	29,131 t	31
にじます	26 t	5,202 t	22

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	広島県	全国	全国順位	
水産加工	総額	6,734 百万円	193,147 百万円	6
	事業体数	30 事業体	1,160 事業体	9
水産物直売所	総額	2,270 百万円	34,259 百万円	3 *
	事業体数	80 事業体	780 事業体	1
漁家民宿	総額	x 百万円	5,440 百万円	- *
	漁業経営体数	0 経営体	540 経営体	30
漁家レストラン	総額	x 百万円	13,511 百万円	- *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

広島県の農林水産業の話題等（1）

2025広島県農林水産業アクションプログラム策定（令和3年3月） 基本理念『生産性の高い持続可能な農林水産業の確立』

広島県では、平成30年3月に策定した「農林水産業アクションプログラム 第Ⅱ期」の計画期間が令和2年度で終了し、この間の成果と課題を検証するとともに、人口減少、少子・高齢化による生産構造の弱体化やスマート農林水産業などデジタル技術・先端技術の進展、大規模災害発生リスクの高まりなどの社会情勢の変化及び県の農林水産業を取り巻く環境の変化等を踏まえ、令和3年3月、農林水産業施策の実行計画である「2025広島県農林水産業アクションプログラム」を策定した。

本プログラムは、令和2年10月に策定された県の総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」における農林水産業等の分野別計画として策定したもので、「生産性の高い持続可能な農林水産業の確立」を基本理念とし、持続可能な開発目標（SDGs）の理念を踏まえつつ、分野ごとの10年後の目指す姿を明確にし、その実現のために5年後の「目指す姿」と、「目指す姿」を実現するために設ける「施策の柱」ごとに今後5年間、県が主体となって重点的に取り組む内容と達成すべき目標（指標）を定め、推進していくこととしている。

農業における5年後の「目指す姿」と「施策の柱」

スマート農業を導入することで生産性を向上させ、地域資源や雇用労働力を有効に活用しながら規模拡大に取り組むなど、持続可能な企業経営にチャレンジする担い手が増加している。

企業経営体等の法人がリーダーとなり、地域資源を生かして付加価値の向上等に取り組むことで地域農業の魅力が高まり、また、兼業農家などの多様な主体と連携しながら継続して生産・保全活動に取り組む事例が広がりつつある。

施策の柱

- I 地域の核となる企業経営体の育成
- II スマート農業の実装等による生産性の向上
- III 新規就業者等の新たな担い手の確保・育成
- IV 担い手への農地集積と基盤整備
- V 中山間地域農業の活性化



機械によるキャベツ収穫
（スマート農業実証プロジェクト）

広島県の農林水産業の話題等（2）

畜産業における5年後の「目指す姿」と「施策の柱」

比婆牛の価値要素がさらに高まり、著名料理人の高い評価を活かすことで県内高級飲食店の取扱いが拡大し、県内の料理人にブランド和牛として認知されている。

肥育経営体の繁殖部門の導入や受精卵産子の安定供給、後継者不在の経営体の経営継承など、広島和牛の生産性を高める体制の構築を図るとともに、スマート農業や畜産GAP等のモデル波及に取り組むことで、持続性の高い経営体の育成が進んでいる。

施策の柱

- I 持続可能な広島和牛生産体制の構築



広島和牛の放牧
(現代和牛のルーツの一つ)

林業における5年後の「目指す姿」と「施策の柱」

年間40万㎡の県産材を持続的に生産するため、林業経営適地の集約化や担い手等の生産基盤の整備、森林に関する情報を関係者が共有して利活用するデジタル情報基盤の整備及び再造林を確実に実施するための技術基盤の整備が確立されつつある。

県産材が、生産から流通、加工、利用まで効率的に流れ、木造住宅に加え、住宅以外の建築物の県産材による木造化や木質化が進むとともに、付加価値の高い県産材製品等が市場へ浸透するなど、新たな需要が確保されつつある。

施策の柱

- I 森林資源経営サイクルの構築
- II 森林資源利用フローの推進

水産業における5年後の「目指す姿」と「施策の柱」

かき養殖においては、採苗シミュレーションシステムの活用等により生産が安定するとともに、水産エコラベル認証等の国際認証の取得が進み、海外輸出が促進されている。

海面漁業においては、資源管理や漁場整備等の資源回復に向けた取組が進むとともに、デジタル技術を活用した漁獲技術の導入・検証や担い手による組織的な出荷・販売体制の整備が進んでいる。また、瀬戸内の地魚のイメージが県民や観光客に浸透し始めている。

施策の柱

- I 海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築
- II 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築



瀬戸内（安芸灘）のメバル